

## 2019 年度重点活動項目

### 地域包括ケアシステムに寄与する人材育成体制の確立とその展開（継続）

「第三次作業療法 5 ヶ年戦略（2018-2022）地域包括ケアシステムへの寄与～作業療法 5・5 計画～」に基づき、2019 年度重点活動項目の主題として 2018 年度重点活動項目の主題である“地域包括ケアシステムに寄与する人材育成体制の確立とその展開”を継続する。

特に、卒前教育については 2018 年 10 月 5 日に「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の一部を改正する省令」（文部科学省・厚生労働省令第 4 号）の内容に対応する取り組みを継続し、その体制を確立することが喫緊の課題である。同時に子どもから高齢者までを対象とする地域包括ケアシステムの現場で活躍する作業療法士数を拡大していく必要があるとともに、その根拠を示すための組織的学術研究体制整備の具体化も必要となる。

#### 1. 作業療法の学術の発展への取り組み

- 1) 組織的学術研究体制整備の具体的方法の提案（#7 学術部）
- 2) 学会のあり方に関する検討（#4 学術部）

#### 2. 作業療法士の技能の向上の取り組み

- 1) 厚生労働省指定理学療法士作業療法士臨床実習指導者講習会を通して、「作業療法教育ガイドライン 2018」及び作業療法臨床実習指針（MTDLP 含む）の理解と運用の推進（#8 教育部）
- 2) 専任教員養成講習会のプログラム立案（#9 教育部）
- 3) 臨床実習共用試験の内容や実施方法の提案（#10 教育部）
- 4) e-Learning による研修会の一部実施とその効果検証と実施範囲の拡充（#18 教育部）

#### 3. 作業療法の有効活用の促進に向けた取り組み

- 1) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに寄与する作業療法のあり方の提示（#25 制度対策部、学術部）
- 2) 「子どもの地域生活を理解して支援ができる作業療法士」育成事業の実施（#29 制度対策部）
- 3) 都道府県作業療法士会と連携して地域ケア会議、介護予防・日常生活支援総合事業、認知症支援への作業療法士参画を拡大（#21~24 地域包括ケア推進委員会、MTDLP 連携支援室・認知症の人の生活支援推進委員会・運転と作業療法委員会）

#### 4. 作業療法の普及と振興に関する取り組み

- 1) ホームページ（日本語版・英語版）において、協会事業に関するニュースやわが国

の作業療法関連トピックスを定期的に発信（#37・41 広報部、国際部）

#### 5. 内外関係団体との提携交流に関する取り組み

- 1) 2024 年第 8 回アジア太平洋作業療法学会（Asia Pacific Occupational Therapy Congress, APOTC）の誘致活動の展開（#19・20・42~44 国際部、APOTC 誘致委員会、学術部、教育部）
- 2) 2020 年オリンピック・パラリンピックを契機に関連団体と協働し、障害のある人のスポーツ参加支援の推進（#36 障害のある人のスポーツ参加支援推進委員会）

#### 6. 大規模災害等により被害を受けた人への支援に関する取り組み

- 1) これまでの災害支援活動に関する取り組みをまとめ、会員・一般国民および海外に広報（#46 災害対策室）

#### 7. 法人の管理と運営に関する取り組み

- 1) 「協会員＝士会員」実現のために都道府県作業療法士会との調整及び最終案の策定（#53 事務局）

（ ）内は、「第三次作業療法 5 ヶ年戦略（2018-2022）」における具体的行動目標の番号と担当部署を示す。